

原子燃料サイクルの取組について

令和6年6月17日
電気事業連合会

- **六ヶ所再処理・MOX燃料工場のしゅん工およびしゅん工後の安定操業**は、原子燃料サイクルの確立に向け、極めて重要な案件と認識。
- 電力各社の知見・経験を活用し、メーカ、ゼネコンの**オールジャパン体制で日本原燃を支える**べく対応中。

<支援の全体像（しゅん工・操業に向け、各分野にて支援を実施）>

新規制基準対応

安全審査（許可済）

- 面談・ヒアリング同席、補正書レビュー

設工認（審査中）

- 新規制基準設工認対応の経験者など
の出向・出張による体制強化
- 専門性の高い分野に対しプロジェクトチームを編成

円滑な
審査

着実な
工事実施

安全対策工事

- 工事監理に関するノウハウが高い関連工事
会社より人材を派遣し、工事監理を支援

しゅん工・
操業

運転

運転員への教育支援

- 原子力発電所運転員との意見交換、基本動作等の確認

技術力
維持・向上

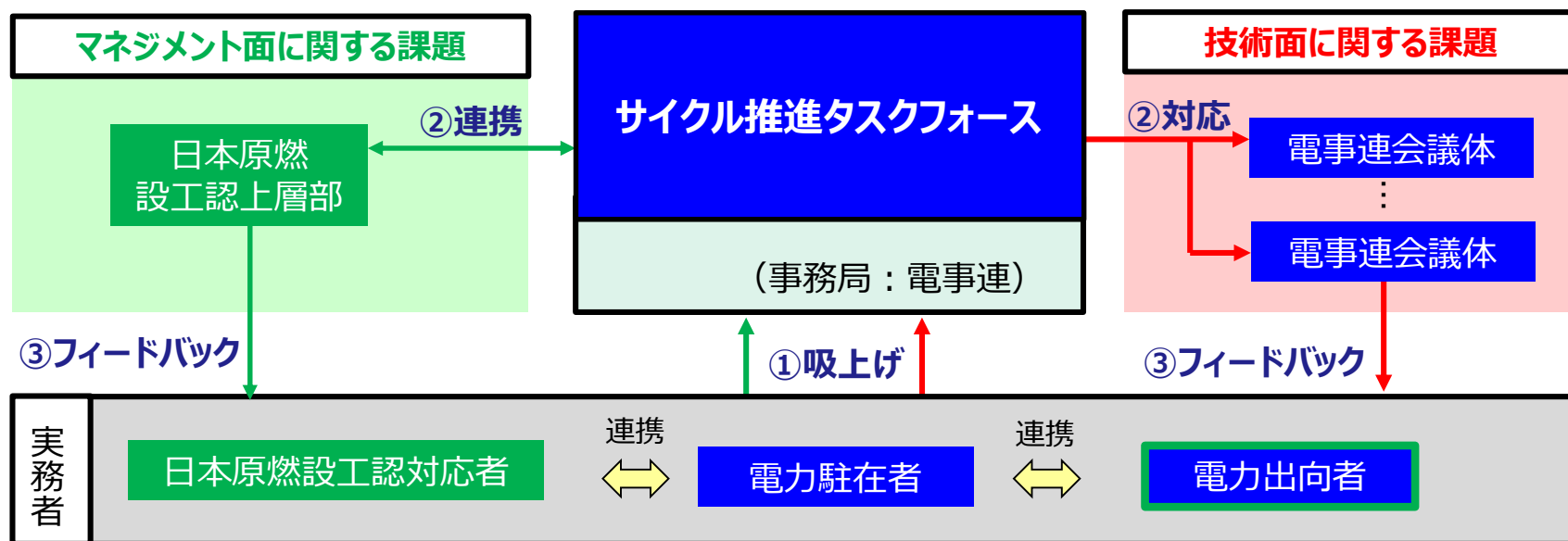
保全

保全技術力強化

- 保全に関する知見・経験等をもつ社員が出向し、日本原燃の保全や
人材育成に対し支援

保全計画
策定・実施

- 電事連は日本原燃と連携し、現地で確認した問題点を踏まえた対策として以下の改善策を実施。
 - ◆ マネジメントの視点および技術的課題への支援に対する連携を強化するため**サイクル推進タスクフォース**を電事連に設置（2022.9）
 - ◆ 電力駐在者が日本原燃設工認対応者など実務者から直接吸い上げた課題への対応を、日本原燃マネジメント層、電事連委員会を通じて実務者へフィードバック



【①吸上げる仕組み】

✓ 電力駐在者が実務者と連携し吸上げた課題などを日々報告

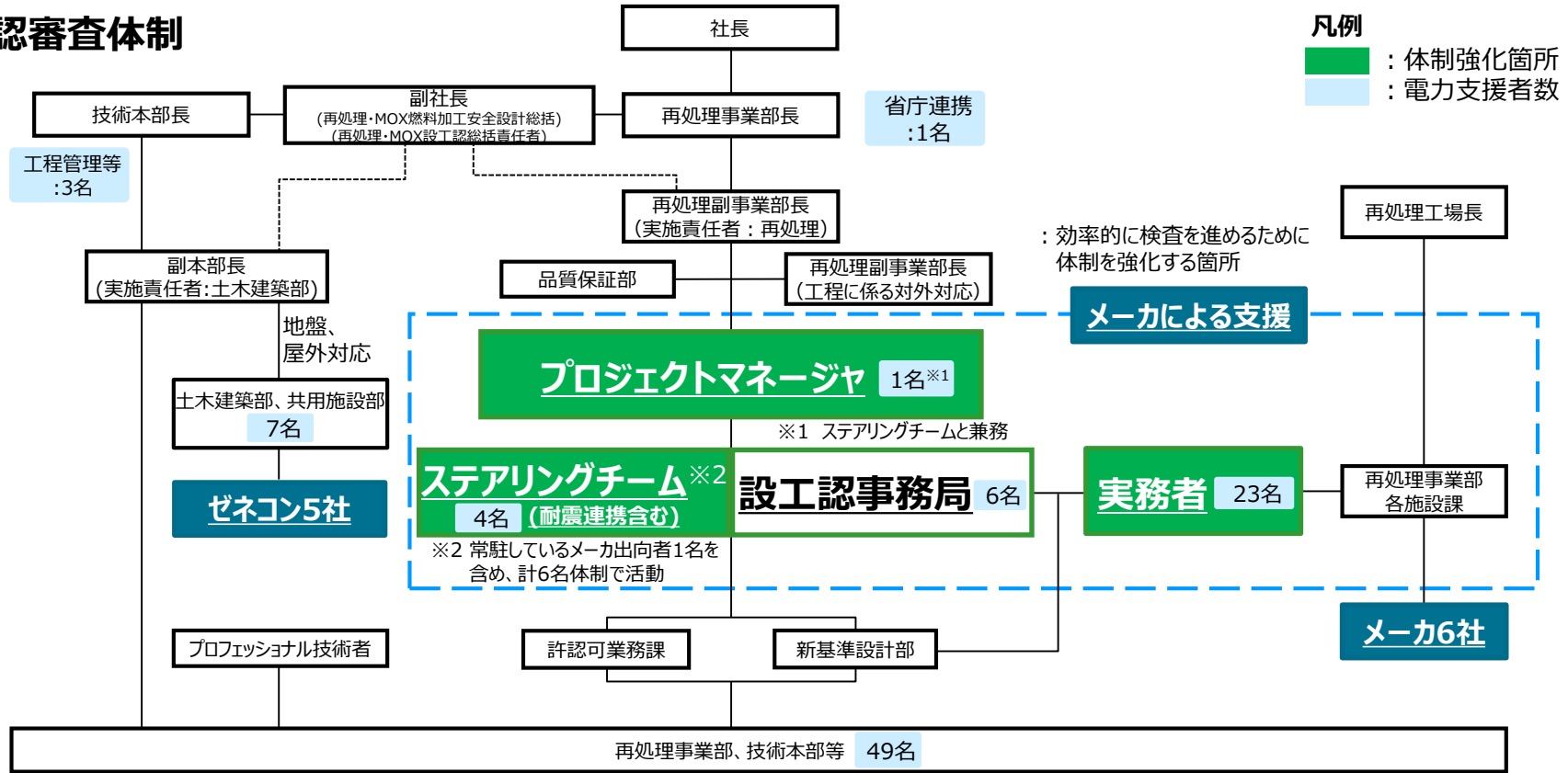
【②対応・連携する仕組み】

確認された課題は、電事連会議体や日本原燃設工認上層部と連携・対応

【③フィードバックする仕組み】電事連会議体や日本原燃設工認上層部を通じて、実務者へフィードバック（再度①へ）

再処理施設の設工認審査等への対応 ～電力による支援状況～

■ 設工認審査体制



■ 電力支援状況 (設工認審査、使用前事業者検査)

2021年度					2022年度					2023年度					24年度															
11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
▼支援者数:62名										支援者数:68名▼					支援者数:87名▼					支援者数:97名▼										
第1回設工認(認可までに2年)										第2回設工認(申請から約1.5年経過)																				
★ 体育館集結 再処理、MOX、協力会社含め計400名					第1回設工認認可12/21▼					★ ステアリングチーム設置 電力4名					★ プロマネ配置 (電力1名) ★ 電力実務者配置 (現在23名)															
					★ サイクル推進 タスクフォース設置(電事連)					▼12/26 第2回設工認申請																				